

**PACIFIC with GULF RACING 「GULF NAC PORSCHE 911」
2017 Autobacs SUPER GT Round 6 in インターナショナル SUZUKA 1000km RACE**

予 選 8月26日(土) 18位
決 勝 8月27日(日) 8位

【予選Q1】

朝の雨の影響もなく路面はドライで迎えたQ1。

決勝を見据えてタイヤはハードを選択しジョノ・レスターにステアリングを託すが、0.3秒に10台が絡む混戦となり、健闘のいかなく18位の結果でQ1を終える。

決勝は18位からのスタートだが、1000kmという長丁場の耐久レース。十分上位進出に期待がかかる。

【ジョノ・レスター 予選後コメント】

私たちは決勝の為にハードタイヤを選択しましたが、予選は合わせ込みしきれず、厳しい結果となりました。

しかし、レースのペースは速いと思うので大丈夫です。

明日、私たちはより多くのポイント獲得を目指します。

今日も多くのご声援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願ひします。

【決勝】

決勝は18番手からジョノ・レスターのスタートでレースを迎える。

オープニングラップは、順位を落とす事なく順調な滑り出しで始まり、本来の走りで徐々に順位を上げて15番手まで順位を上げる。

19周目に1回目のピットインでドライバーをジョノ・レスターから峰尾恭輔に交代し、GT300の全チームが1回目のピットインが完了する時点で15番手のポジションをキープしての走行。

37周目には他の車両クラッシュによりセーフティーカーの導入が行われ、45周目に解除と同時に2度目のピットインでドライバーをジョノ・レスターに交代。

その後も、73周目に3回目のピットインでドライバー交代を行い、全車両が3回のピットイン完了時には11位のポジションで、果敢かつ冷静なドライビングで周回を消化する。

88周目には2回目となるセーフティーカーが上位車両のクラッシュで導入され、リスタートとなるが、その後も順調に作戦通りに101周目に4回目、132周目に5回目のピットイン。最後を託す峰尾恭輔へのドライバーチェンジも、ノーミスの完璧なピット作業で最高の状態でコースへ送り出す。

1000kmの長丁場で、ドライバーの気力、体力と共に限界に達しようとするなか、集中して安定した走行で9位のポジションでの走行を続ける。

最後は上位車両のクラッシュもあり8位でのチェッカーフラッグ。

シリーズ最長となる1000kmの長丁場の耐久レースを、予選18位から果敢かつ安定した走り、ノーミスの完璧なピット作業で8位入賞を果たした。

表彰台には届かなかったが、ポイントを獲得しチームは確実に実力をつけ、次戦以降のタイ、もてぎに繋がる結果になった。

【ジョノ・レスター 決勝後コメント】

私たちは今日の結果の為に多くの努力をしてきました。

レース序盤にドライブスルーペナルティを受けましたが、それを挽回するべくチーム皆が一丸となって戦い、18位スタートから8位入賞を果たす事が出来ました。

素晴らしい仕事をしてくれたチームメイト、サポートをして下さったスタッフの方々に感謝します。ありがとうございました。

【峰尾恭輔 決勝後コメント】

今回の鈴鹿戦から YOKOHAMA タイヤさんの新しいハードタイヤを初めて履いた事で、これまでとマシンバランスが大きく変わり、予選前は悪天候で走る時間が少なく、セットアップを煮詰めきれなかった部分がありましたが、決勝前に強いレースが出来ると思えるセットアップにして挑みました。そのセットアップの変更が功を奏して、強いレースが出来ました。

ジョノ選手の素晴らしい走り、チームクルーがノーマスで素晴らしい仕事をし、10台抜きの8位というポジションを獲得できたことに、改めてチーム力の強さを示せたと思います。しかし、表彰台を取るにはもう少し努力と、もう少しの運が必要です。

次戦のタイに向けて、表彰台争いができるように色々考えて戦っていきたいと思います。

1000kmの耐久レースを予選18位から決勝8位と無事完走して結果を残せたことは、チームとして自信に繋がると共に、喜ばしい結果であります。

これからもチーム全員で頑張っていくので、皆様の温かいご声援をお願い致します。

スポンサー様におかれましては、平素からチーム活動へのご理解ご協力ありがとうございます。引き続き、御社プロモーションに寄与すべくレース活動をまい進していく所存です。

あたたかいご声援を宜しくお願いいたします。

次戦、第7戦はチャン・インターナショナル・サーキットにて、10月7日土曜日（予選）、8日曜日（決勝）です。